

まずは相談

トイレ修理での思わぬ高額請求にご注意！

トイレ修理に関して、料金や作業内容などで事業者とトラブルになったという相談が報告されています。

具体的には、「トイレが詰まったので、電話帳で見つけた業者に連絡し、来てもらった。便器の交換が必要となり、作業後に請求された金額が高額だと感じたが、作業が終わっていたため仕方なく支払った」というものです。

突然のトラブルでは、冷静に考えることが難しい場合がありますが、複数社から見積りを取って、作業内容や料金をよく確認するようにしましょう。事前に、出張や見積りにかかる料

金の有無を確認することも重要です。

現場の状況次第では、さらに修理が必要になることもあります。作業を行う前に作業内容や料金などを確認し、納得できない場合はその場で契約しないようにしましょう。

また、急なトラブルに備え、日頃から安心して依頼できる事業者の情報を集めておくことも大切です。水漏れの場合は、自宅の止水栓の位置と締め方を確認しておくといよいでしょう。

分からないことがあった際や困った際には、1人で抱え込まず、消費生活センターまでご相談ください。

「減災」と男女共同参画

今年の7月3日にも発生したように、日本では豪雨災害が毎年のように発生しています。

昨年の熊本豪雨のデータ等から、被災時の男女それぞれの課題が明らかになりました。

女性からは、「家族の面倒を見なければならず職場復帰が困難だった」「妊娠中だったが、周りも被災者だからと思うと助けを求められなかった」という体験談が寄せられました。男性については、「自宅や職場の復旧作業で過労状態になった」「一部の男性リーダーに負担が偏った」「周囲と関係が築けず孤独死のリスクが高まった」等の課題が挙げられました。

普段から、家庭や地域で男女がともに責任を担い、助け合える関係を築くことが、いざというときの「減災」に繋がります。

市消費生活センター専用ダイヤル ☎(44)4883(市役所2階)

■相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。

※土・日・祝日の電話相談は消費者ホットライン☎188(局番なし)へ

まちがいさがし

わかるかな?

▼ じゃぶじゃぶ池

2枚の写真には違っているところが3つあります。みつけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは34ページ下段



スマートフォンやタブレット端末から「広報しもつけ」を読むことができます

○カタログポケット

URL https://www.catapoke.com/?mict_code=1



iOS Android



○トチギーブックス

URL <http://www.tochigi-ebooks.jp/>



○マイ広報紙

URL <https://mykoho.jp/>



○マチイロ

URL <https://machihiro.town/>

